

期末試験について

1. 用語説明（3つを選んで出題）

- 分税制改革（背景、意義）
- 財政政策の3つの目的
- 財政赤字の両面性（良い面と悪い面）
- 土地財政（背景、現状、解決方法）
- 金利自由化（メリットとリスク）

2. 小論文（1つを選んで試験当日その場で作成）

題目①「人民元切り下げの日本経済への影響」

(参考)「人民元2%切り下げ 中国人民銀、輸出回復めざす」

日本経済新聞 2015/8/11 11:03 (2015/8/11 12:59 更新)

中国人民銀行（中央銀行）は11日、人民元売買の基準となる対ドルの為替レートである「基準値」の算出方法を変更すると発表した。これに伴い人民銀は11日の基準値を前日から約2%切り下げた。市場では人民元が一時約3年ぶりの安値水準に急落した。事実上の人民元切り下げにより、中国は低迷する輸出競争力の回復を目指す。

(中略)

中国国務院（政府）は7月24日、貿易促進策の一環として人民元の変動幅を一段と拡大する方針を表明し、人民銀など関係機関に具体的な検討を指示していた。

中国の7月の輸出額は前年同月比8.3%減だった。人件費の上昇に加えて人民元高で国際競争力が低下しており、人民元の切り下げで輸出をてこ入れする狙いがある。

題目②「日本銀行のマイナス金利についての考え」

(参考)「マイナス金利「負の影響」 日銀内部に根強い慎重論」

産経ニュース 2016.5.9 21:14 更新

日銀の「マイナス金利政策」について内部や政府で慎重論が根強く、深掘りのハードルが高くなっている。

マイナス金利導入から初めての会合で、大多数の委員は金利面での効果は既に表れているとの認識を共有。具体的には「住宅ローンの金利低下が住宅投資を刺激するほか、借り換えを通じて債務者の金利負担を軽減し、消費にもプラスに働く」との声があった。

これに対し、懐疑的な何人かの委員は、金融機関や預金者の不安を招いた、金融市場の不安定化に拍車をかけた、国内の投資対象資産に限られる中、期待した資産構成の見直し効果につながっていないなどと指摘した。

(後略)